

01 ネット時代の成功例に学べ!

YouTube動画の意外な活用方法

▶ 日本のお菓子メーカーと飲料メーカーがコラボ商品を発売して、楽しいPR動画をYouTubeで公開した。

内容は、おとぼけ発言で人気の女性タレントが工場を見学するもの。製造工程を見ながら「あ、これはヤバそうなものを作っています」「きっと変なものなのでしょう」などとおかしなコメントを連発して爆笑を誘い、つい最後まで見てしまう。

通常ならNGになるレポートだが、それを使うユーモアが受けて、SNSで大評判となった。

▶ ドイツの自動車メーカーが新発売したクルマは、高性能なルーフアンテナを搭載し、車内でインターネットを利用できる。

同社はプロモーションとして、YouTubeのユーザーにこのクルマを試乗している動画を自由に作ってもらい、再生回数をお金に換算してクルマを買えることにした。

換算金額は再生40回ごとに1ユーロ。再生回数が多いほど、高い金額の車を購入できる。一番高いクルマ(1万4747ユーロ)の場合、約58万9900回の再生で購入できる。多くの動画が投稿され、再生数530万回を突破した強者もいた。

02 繁栄企業の成功要因を探る

運動会をプロデュースして会社の問題解決をサポート

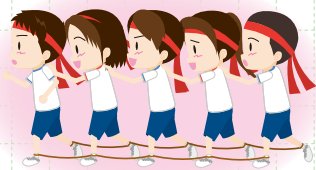
▶ 会社の運動会をプロデュースするNPO法人がある。会社内や、全国にちらばる工場や事業所の社員間のコミュニケーション不足が原因で問題が発生することが多い。それを解消するきっかけに運動会を利用する企業が増えている。

このNPOでは運動会の目的に合わせてプログラムを工夫している。社員間のコミュニケーションを増やすことが目的の場合、借り物競争ならぬ「借り人競争」に「尊敬する上司」や「私のライバル」というお題を仕込んで、運動会の後も社内の会話が弾むことを狙う。

また、チームビルディングやチームリーダー育成が目的の「研修型」運動会では、「10人11脚競争」の1回目の後に作戦タイムを設け、2回目のタイムとの「短縮幅」を競わせる。これで改善のためにチームで知恵を出し合い、役割分担をするようになる。

最近では、競技は昼までにして、午後はバーベキューを楽しむという日程も人気だ。

事業を始めた2008年に開催プロデュースした運動会は5件だったが、今は毎週のようにどこかで運動会を開催している。



Check! 進化するプロモーション手法に必要な基礎知識
要チェック!

▶▶▶ 業者に任せたままにしない
簡単ホームページ入門【後編】

インターネットのホームページを業者任せにしている会社も多い。だが、Webサイトの作成・管理の基礎的な仕組みや特徴を知っておくと、HPの制作は業者に依頼するとしても、打ち合わせや指示する際に役立つ。

● 無料でHPをつくれるサービス

前回紹介したWordPressはHTMLを使わずにWebサイトを作成・運営できるシステムがだが、それ以外に簡単に無料でHPを制作できるWixやJimdoといったサービスもある。両方ともデザインテンプレートが豊富で、レイアウトを手軽に変更できる。

Wixは、デザイン性が高いと評判だ。簡単にHPを作成できることから、企業にも利用されている。だが、無料サービスでは独自ドメインの設定ができず、広告も表示される(有料版は独自ドメイン設定も広告非表示も可能)。

Jimdoも簡単にHPをつくれるサービスでデザイン性も良いが、特徴的なのは標準機能でオンラインショップを作成できることだ。ショップの設定は、必要な情報を入力して登録するだけでよい。ただし、無料版で掲載できる商品は5点までという制限がある。また、無料版では支払い方法がPaypalのみで、銀行振込、代金引換などは有料版でないといけない。

なお、JimdoもWixと同様、無料版は独自ドメインが使えず、広告が表示される。

● SNSを使う方法もある

Facebookのページを利用する企業も多い。Facebookのアカウントがあれば無料で作成することができる。レイアウトを作る必要もない。Twitterのように字数制限がないため自由に情報発信できる。

SNSだからユーザーから「いいね!」がつくため反応が実感できる。Facebookは本名でのアカウント登録が原則で、多くは性別・生年月日も登録しているから、どの層に反応が良いか調べることもできる。

また、コメント欄でユーザーと会話ができて、会社を身近に感じてもらいやすい。

HPでの情報更新はプレスリリースのようなものにして、日々の細かい情報はFacebookでアップして、それをHPにリンクさせている会社も多い。

HPの形式や使い方は様々である。その特徴をわかった上で、何をどう利用するか考えた方が良さだろう。

※本文中の情報は2018年2月現在のものです。